

令和6年度 第1回四街道市生涯学習審議会

日時：令和6年7月4日（木） 13時30分～

場所：四街道市企業庁舎 2階会議室

次 第

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 市長挨拶

4. 委員紹介・役員選考

5. 報 告

(1) 第3次四街道市生涯学習推進計画の令和5年度進捗状況調査結果について

…No.3

(2) 第4次四街道市生涯学習推進計画について

…No.4

6. 議 題

(1) 第4次四街道市生涯学習推進計画の進捗管理について

○生涯学習推進計画の評価方法について …No.5-1

○第3章評価シート（案） …No.5-2

○一覧表評価シート（案） …No.5-3

○令和5年度事務事業評価シート（令和4年度実施事業） …参考資料2

7. その他

四街道市生涯学習審議会委員

任期 令和6年6月1日から令和8年5月31日まで（2年間）

令和6年6月1日現在（敬称略）

氏 名	選 出 区 分	備 考
北林 栄峰	学校教育の関係者	愛国学園大学附属四街道高等学校・校長
稲坂 敏幸	生涯学習関係団体の代表者	四街道市子ども会育成連合会・会長
長谷川 睦美	生涯学習関係団体の代表者	四街道市芸術文化団体連絡協議会・会長
中村 嘉孝	生涯学習関係団体の代表者	四街道市スポーツ協会・常任理事
渡部 洋	社会福祉関係団体の代表者	四街道市ボランティア連絡協議会・会長
海保 智行	社会福祉関係団体の代表者	四街道市シニアクラブ連合会・副会長
江崎 俊夫	学識経験のある者	植草学園大学・短期大学 顧問 教職・公務員支援センター・特命教授
川口 一美	学識経験のある者	聖徳大学心理・福祉学部 社会福祉学科・教授
富樫 直子	公募による委員	
福田 三千男	公募による委員	

第4次四街道市生涯学習推進計画について

第4次四街道市生涯学習推進計画では、「あそぶ・まなぶ・めぐる Smile!」をキャッチコピーとして掲げ、「手に取ってみたい計画」・「わかりやすい計画」を意識して策定いたしました。

(1) 計画策定の趣旨

本計画は、本市の最も上位の計画「総合計画」と教育全般に係る「教育振興基本計画」のうち、生涯学習に関する政策を総合的・効果的に推進するための方針を示すものです。

(2) 計画の対象期間

「総合計画」と「教育振興基本計画」と整合性を図るとともに、生涯学習を取り巻く現状と課題を踏まえ、令和6年度から10年度までの5年間としています。

(3) 第3次四街道市生涯学習推進計画との主な違い

- ① 序章を設け、生涯学習についての基本的な考え方について記載
- ② 本計画の目指すところをわかりやすく明確化。市民アンケート結果を基に、「生涯学習に取り組んでいる市民の割合」と「生涯学習に満足をしていない市民の割合」の指標を重要視している
- ③ 第2次生涯学習推進計画から踏襲してきた基本理念「学び合いで輝く生涯学習社会づくり-互学協働のまち-」から、「のびゆく心と学びの調和」に変更
- ④ 新たな取り組みとして、生涯学習の普及や、千葉県生涯学習情報提供システムを活用した生涯学習情報一元化を図る

(4) 第3次四街道市生涯学習推進計画から引き継いだ主な点

- ① 計画の目指すべき方向

(5) 昨年度の生涯学習審議会で頂いていた意見

- ① SDGs や Society5.0 などの馴染みのない言葉はつかわず、誰がみてもわかるようなわかりやすい計画にしてほしい。
- ② 馴染みのない言葉やカタカナを使用する場合は、注釈をいれてほしい
- ③ 生涯学習という言葉聞いたことがあっても、意味を知らない人も多くいると感じる。基本的なことから説明をした方がよい。
- ④ 人生100年時代に向けて、生涯学習の重要性が増すことが予想される。生涯学習の普及や情報を提供する取組が必要。
- ⑤ 「学びの成果を活かす」、「学び続けることができる」ボランティア活動が衰退しており人材育成や人材発掘が急務。

【実施評価】	
◎	十分に取り組みることができた（9割以上） or 当初予定していたもの以上のことを実施することができた
○	概ね取り組みることができた（6～8割程度） or 当初予定していたものを実施することができた
△	あまり取り組みることができなかった（5割以下） or 会議や審議会等で協議をしてやむを得ず中止を決定した
×	殆ど取り組みることができなかった or 当初より中止が決定していたもしくは協議等なく中止を決定した

【生涯学習推進のための視点】	
①	現役世代の生涯学習に対する配慮
②	高齢者の力を活かす
③	持続可能な学習形態の推進
④	障害者の多様な学習活動の推進
⑤	家庭教育支援体制の充実

【基本方針と主要施策】	
1. 学びの基盤づくり	3. 学びが広がる地域づくり
1-1 家庭教育・子育て支援	3-1 地域教育力の向上
1-2 健康づくり	3-2 市民参画・協働の推進
2. 学びのきっかけづくり	3-3 人材育成・活用推進
2-1 学習情報の発信	3-4 啓発活動の推進
2-2 学習ニーズへの対応	4. 学びを支えるまちづくり
2-3 ICT活用能力の育成	4-1 互いを高め合うコミュニティ活動の推進
2-4 相談体制の充実	4-2 生涯学習関連施設の確保・整備

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進の観点	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
1	1	1	保育課	中央保育所 保育運営事業	地域における子育て支援と交流の場を提供します。	①	a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	×	休止中のため	保育士不足のため、令和5年度は子育て支援センターを休止した。
							b 参加対象者に広く周知できた。	×	休止中のため	
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×	休止中のため	
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	×	休止中のため	
2	1	1	保育課	千代田保育所 保育運営事業	地域における子育て支援と交流の場を提供します。	③	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	×	休止中のため	子育てひろばを毎週火曜日に開催しているほか、地域の子育て家庭へのPRもかねて、年2回、近隣の公園で出前子育てひろばを開催しました。また、保育所の見学者にも子育て支援事業の情報提供を行いました。
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	×	休止中のため	
							a 学習時間が取れない人に対する配慮を行った。	○		
							b 参加対象者に広く周知できた。	○		
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○		
2	1	1	保育課	千代田保育所 保育運営事業	地域における子育て支援と交流の場を提供します。	⑤	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		*子育てひろばを育てる保護者同士が、交流をもつ場（利用同じ地域の子育ての悩みがある場合、利用者同士または保育士との関わりの中で、相談することもできる）
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○		

No.	基本方針	担当課	事業名	内容	生涯学習推進の観点	視点効果	実施状況	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
3	1	健康増進課	母子保健事業	妊娠中から夫婦で子育てに関する知識や技術を習得できる場を提供します。	⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。 c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎		妊婦とそのパートナーが、妊娠中の健康、子どもを迎える準備と夫婦共同での子育てについて学べる教室を開催しました。 【R5実績】 方法：1回16組 内容：講義・お産の進み方・出産に向けての準備・手帳き・赤ちゃんの生活・赤ちゃんの立き（ビデオ視聴）・お風呂のデモンストラレーション 体験：赤ちゃんのお風呂・着替え・オムツ替え・ミルク調乳・妊婦体操
4	1	産業振興課	農産物生産等支援育成事業	親子で食物について考える機会を提供します。	⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	○		市民親子農業収穫体験講座を開催し、親子で食物について共に学ぶ機会を提供しました。
5	1	社会教育課	子育て学習事業	家庭・学校・地域の連携で、家庭教育を推進します。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。	○		
					②	a 参加者の知識や技能等を活かす場を提供できた。 c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○		
					③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		・就学時健康診断時及び中学校入学説明会時に、家庭教育の重要性に関する子育て学習講座を開催しました。 ・地域・家庭教育学級では、地域の子をもつ親で組織された団体を対象に、家庭教育に関わる講演や情報交換をできる場を提供しました。
6	1	図書館	読書学習推進事業	子どもたちが読書に親しむ機会を提供します。	⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。 b 家庭教育に関する指導・助言ができる人材の育成を行った。 c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎		乳幼児期から本に親しむため、読み聞かせ等の実践、年次別資料案内しおり、展示活動、講座開催により、多様な資料を紹介し、本と出会う機会を提供しました。 【R5実績】 ・児童対象事業数 20件（延べ参加者数 4246名） ・一般対象事業数 9件（延べ参加者数 344名） 介護予防に関する各種講座や講習会、教室において、健康教育を開催しました。 【R6実績】 ・コグニサイズで認知症予防 2回、42人 ・いきいき脳の健康講座 4回、61人 ・居れど予防講習会 1回、24人 ・シナリオシロジニ読書者養成研修 1回、17人
7	2	高齢者支援課	一般介護予防事業	介護予防を目的とした講習会を開催します。	③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○		
8	1	健康増進課	健康よつがいどう21プラン推進事業	健康よつがいどう21プランに基づき健康づくりのための各種啓発活動や事業を実施します。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎		「健康よつがいどう21プラン」推進のための啓発として、市役所よりやホームページで健康情報の提供をしました。また、県の健康ポイント事業と連携し、市のインセンティブ事業の充実を図りました。家庭で健康づくりに取り組むきっかけとなるよう、親子で参加する教室を実施しました。 【R6実績】 ・健康コラムや食育レシピ等を市役所より、ホームページに掲載 ・健康ポイントよつがい：各種検診等の受診、健康づくり事業への参加、主体的な生活改善行動等9つの対象事業に対して申告により3ポイントで応募、抽選で特典（クオカード1万円5名、500円150名）を贈呈。 ・親子向け教室（子どもとエクササイズ・ハバットとクッキング）3日間×2コース実施 ・男性向け運動教室2日間×1コース実施 ・女性向け教室（エクササイズとクッキング）3日間×1コース実施

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための効果	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
9	1	2	健康増進課	成人保健事業	健康よっかいどう21プランに基づく健康づくりのための各種啓発活動や事業を実施します。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○ ○ ○		市民の健康保持増進と疾病予防のため、健康教室（糖尿病予防教室・脂質異常症予防教室）、健診結果相談や集団検診（健診）の待合室を利用した健康教育を実施しました。また、母子保健事業で健康教育を行い、若い親世代への周知に努めました。
						⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。 c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○ ○		【R5実績】 健康教室：糖尿病予防教室1コース4回実施、脂質異常症予防教室1コース3回実施 健康教育：各種接診待合、各種教室、母子保健事業等で実施 健康相談：健診結果相談、骨粗しょう症検診結果相談、定期成人健康相談、随時健康相談、歯・口腔相談
10	1	2	社会教育課	公民館管理運営事業	健康づくりに関する学習の機会を提供します。	②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎		・65歳以上の高齢者を対象とした講座を開催しました。（長寿大学、長寿大学、あさひ寿大学） ・各種講座を開催することで、学習機会の提供だけでなく参加者同士の交流の場を設けました。
						③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。 b 学習成果を地域に還元できた。	◎ ○		【実績】 長寿大学 全8回 461人参加 長寿大学 全8回 290人参加 ※あさひ寿大学は、旭公民館改修工事の間際で未実施
						⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。 c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○ ◎		
11	2	1	みんなで課	国際交流事業	国際交流協会の活動を市政だよりや市ホームページで取り上げ、広く周知します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○ ○		・国際交流協会が開催する、にほんご教室や英会話教室などの各種教室や催し物を支援しました。
						③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○ ○		
12	2	1	みんなで課	みんなで地域づくりセンター運営事業	みんなで地域づくりセンター情報誌を発行します。	①	d 〔読者である市民に、地域づくりに関する知識等を広めた〕 b 学習成果を地域に還元できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○ ○ ○		・情報誌「みんなで」の発行。 ・市民団体の活動紹介や地域づくりのコーディネートを行いました。

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
13	2	1	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会情報紙の発行を支援します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場を提供できた。	○		社会福祉協議会が実施する、多様な世代を対象とした講座等の開催案内や広報紙発行事業の一部に対して補助金を交付すること、運営支援を行いました。
						③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
						②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎		
14	2	1	社会教育課	公民館管理運営事業	公民館だよりを発行します。	③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎		生涯学習を支援するため、公民館主催講座等を掲載した公民館だよりを発行しました。
						⑤	a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	○		
						①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	◎		
							b 参加対象者に広く周知できた。	○		
						②	a 参加者の知識や技能等を活かす場を提供できた。	○		
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎		
							c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○		
15	2	1	社会教育課	生涯学習推進事業	ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービスを活用した生涯学習情報の提供をします。 生涯学習を推進するために、ガイドブックを発行します。	③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		①学習情報をタイムリーに広報するために、HPやSNSを活用しました。 ②市が行う各種事業や生涯学習関連施設・団体等の情報を載せた「まなびのガイドブック」を作成し、生涯学習の情報誌として発行しました。
						④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。	○		
						⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○		

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習 推進のた めの取組	視点効果	実施 評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
16	2	2	みんなで課	みんなで地域 づくりセンター 運営事業	地域の課題を解決する ための講座を実施しま す。	①	b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎ ○		みんなで地域づくりセンターにおいて、地域課題を解決するた めの講座等を開催します。 【R5実績】 講座の開催 16回
17	2	2	社会福祉 課	社会福祉協議 会支援事業	社会福祉協議会と連携 してボランティア活動者 を増やすための講座や イベントを実施します。	② ③	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。 b 学習成果を地域に還元できた。	○ ○		ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を 行うことで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの支援の確保 や活動の支援を行いました。
18	2	2	社会教育 課	公民館管理運 営事業	市民が求めるニーズに 沿った講座を実施しま す。	② ③	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。 c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。 a 学習者同士の交流の場を提供できた。 b 学習成果を地域に還元できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○ ○ ◎ ○ ○		昨年度の講座アンケート結果を元に、市民のニーズを把握し多 様な講座を開催した 講座実績 【実績】 四街道公民館 長期講座：5講座 短期講座：2講座 千代田公民館 長期講座：5講座 短期講座：2講座 旭 公民館 長期講座：2講座 短期講座：1講座 ※旭公民館は改修工事のため実施数減少
19	2	2	文化・ス ポーツ課	文化財保護管 理事業	文化財の調査・保護を 行い、活用を図ります。	① ② ③	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。 c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○ ○ ○		・ホームページに、資料等を掲載することで利便性の高い学習 機会を提供しました。 ・千葉県教育委員会との共同事業として、千葉県が所有する四 街道市出土の資料の展示キットを作製しました。 ・教育委員会のエントランス内にある展示ケースを活用し、作 製した展示キットを用いて文化財の企画展を開催し、市民へ学 習の機会を提供しました。

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための取組	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
20	2	2	社会教育課	市史編さん事業	資料調査及び収集整理や古文書の整理保存を行い、活用を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 b 学習成果を地域に還元できた。	○		資料調査及び収集整理や古文書の整理保存を行い、活用を図りました。 市史に関する電話・メール等の問い合わせにに応じることで、自主学習等を支援しました。
21	2	2	社会教育課	生涯学習推進事業	・市政について知識を深めるための生涯学習まちづくり出前講座を実施します。 ・学びたい市民と教えた市民をつなぐための生きがいがいづくりアシスト事業を実施します。	① ② ③ ④ ⑤	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。 b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。 a 学習者同士の交流の場を提供できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。 b 関係部署と連携し、参加者を募った。 c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎ ◎ ◎ ◎ ○		①生涯学習まちづくり出前講座 担当課との調整を行い、祝日・年末年始を除いた全ての日程で開催可能となりました。 育児に関する講座メニューを取り入れました。 ②生きがいがいづくりアシスト事業 ・専門的な知識や技能を持った市民にボランティア講師として登録してもらい、市民の活躍の場を提供しました。 ・アシスト登録講師の協力のもと「一日体験講座」を開催しました。

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施状況	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
22	2	2	社会教育課	市民大学講座事業	まちづくりの意識を深めるための市民大学講座を実施します。	① ② ③	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。 b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。 a 学習者同士の交流の場を提供できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○ ◎ ○ ○ ◎ ○		・市政により、市ホームページ、自治会回覧配下、関係機関でのチラシ設置により講座開催を広く周知しました。 ・講座の開催によって、地域について学べる講座を提供することで、その成果を地元で活かす動機づけを促しました。 ・参加者同士で班編成を実施したことで参加者間の交流の機会を提供しました。 ・一般課程においては、修了者有志による運営委員会を組織し、協働で講座の企画や運営を行いました。
23	2	2	文化・スポーツ課	小中学校施設開放事業	小中学校施設の一部を開放し、文化・スポーツ活動の活性化を図ります。	① ② ③	b 参加対象者に広く周知できた。 b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。 a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○ ○ ○		身近な活動場所として市内小中学校の校庭及び市内小中学校の体育館や特別教室を開放することで、市民が気軽に文化・スポーツに親しめる環境を整えます。 <R5実績> 学校開放利用団体数 体育館 217団体 (バレーボール、バスケットボール、空手等) 校庭 43団体 (ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ等) 特別教室 11団体 (ピアノ、絵画、書道等)
24	2	2	文化・スポーツ課	スポーツ普及促進事業	スポーツを盛んにするための大会・イベント等を実施します。	① ③	b 参加対象者に広く周知できた。 b 学習成果を地域に還元できた。	○ ○		成人を対象にスポーツ活動への参加の促進と健康づくり、仲間づくりの場を提供するため、以下の大会イベント等を行いました。 スポーツ教室 3回 スポーツde健康大作戦 参加者 429人 四街道WALLABY RUN 申込人数 918人

No	基本 方針	主要 施策	担当課	事業名	内容	生涯学習 推進のた めの取組	視点効果	実施 評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
25	2	3	社会教育 課	公民館管理運 営事業	高等教育機関と連携 し、高度な知識・技術の 習得を目的とする講座 を実施します。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	◎		・公民館主催講座は、平日だけでなく土日開催の講座も企画することです。現役世代も参加しやすいようにします。 ・日常生活にも役立てる多様な講座を開催するとともに、学習者同士の交流を促します。
							b 参加対象者に広く周知できた。	◎		
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○		
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎		
							b 学習成果を地域に還元できた。	◎		
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	◎		
26	2	3	社会教育 課	市民大学講座 事業	高等教育機関と連携 し、高度な知識・技術の 習得を目的とする講座 を実施します。	②	a ライフステージに合わせた学習を提供できた。	◎		・市政により、市ホームページにより講座開催を広く周知しました。 ・ICTを活用した産業やサービス等について、高等教育機関を講師に迎え、専門的な知識習得の機会を提供しました。 ・講座終了後は受講者に対して、講座の内容等の意見を求めるアンケートを実施しました。 ・市民大学講座一般課程では、班にわかれてのワークショップ形式の授業を取り入れ、学習者相互の学びの場を提供できました。
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	◎		
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○		
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○		
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○		
						③				
						④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。	◎		
						⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	×	当初は育児に関する講座を予定し	

No	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための取組	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
27	2	4	みんなで課	みんなで地域づくりセンター運営事業	地域づくりに関する学習についての相談に対応します。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		みんなで地域づくりセンターにおいて、地域づくりに関する市民からの相談を受け付けました。(休館日を除く) 【R5実績】 相談件数 99件
28	2	4	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会と連携してボランティア活動に関する相談日を設定対応します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○		ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで、高齢者の社会参加や生きがいづくりの支援の確保の寄与や活動の支援を行いました。
29	2	4	保育課	子育て相談支援事業(内部管理事業)	子育て相談支援事業(内部管理事業)が子育てに関する相談に対応します。	③	b 学習成果を地域に還元できた。	○		市民が安心して育児を行える支援体制を整備するため、子育て支援サービスの相談・紹介を行う子育てコンシェルジュを配置しました。
30	3	1	危機管理室	地域災害対策事業	市防災訓練や区・自治会主催の防災訓練のほか、出前講座や母子手帳の交付と併せて防災ハンドブックを配布する等、市民防災への意識の高揚を図ります。	③	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		・市民の防災への意識の向上のため、防災訓練を開催しました。 【R5実績】 ・防災訓練 22回 ・出前講座 15回
31	3	1	みんなで課	男女共同参画推進事業	男女共同参画に関する講座・イベント等の実施を支援します。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		男女共同参画に関する講座・イベント等の広報周知を支援しました。 【R5実績】 ・防災講座に男女共同参画の視点を加えた講座を実施 受講者数28人 ・男性の家事育児参加を促進する父子料理教室を実施 参加者数12人 ・性の多様性やジェンダー平等に関する講座を実施 受講者数27人
32	3	1	みんなで課	国際交流事業	姉妹都市リバモア市との中学生を対象とした交換留学を実施します。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	×	事業を中止したため。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、姉妹都市短期交換留学事業を中止しました。
						③	b 参加対象者に広く周知できた。	×	事業を中止したため。	
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×	事業を中止したため。	
							a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	×	事業を中止したため。	
							b 参加対象者に広く周知できた。	×	事業を中止したため。	
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×	事業を中止したため。	
							a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	×	事業を中止したため。	
							b 参加対象者に広く周知できた。	×	事業を中止したため。	
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×	事業を中止したため。	
							a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	×	事業を中止したため。	
							b 参加対象者に広く周知できた。	×	事業を中止したため。	
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×	事業を中止したため。	

No	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生活学習推進の観点から	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
33	3	1	くらし安全 交通課	防犯対策事業	防犯講習会を開催し、 防犯意識の高揚を図り ます。	③				市民の防犯意識の高揚と知識の普及・啓発を目的に、市、防犯 協会、警察等の関係団体と協力して防犯講習会を開催しまし た。
34	3	1	くらし安全 交通課	交通安全対策 事業	幅広い世代に向けた交 通安全教育の推進を図 ります。	③				幼児や高校生、高齢者に対する交通安全教室を実施すること で、交通安全教育の推進を図りました。
35	3	1	子育て支援 課	児童センター 運営委託事業	地域で活動するボラン ティア団体・市民活動団 体等の協力を得て、児 童センターの運営に取 り組めます。	⑤				四街道市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、児童センター2 か所の運営を行います。（事業については、ボランティアの協 力のもと実施します。）
36	3	1	くらし安全 交通課	消費者教育推 進事業	消費生活に関する意識 の高揚を図るため、講 座を実施します。	①				「子ども消費者教室」など、消費者としての正しい知識を勉強 し習得できる場を設けました。 【R5 実績】 ・開催日 8月5日（土）、6日（日） ・会場 イトーヨーカドー 四街道店 ・参加者数 26名
37	3	1	社会教育 課	学校支援活動 事業	コーディネーターを配置 し、地域人材を活用した 学校支援に取り組みま す。	②				・学校の求めに応じ、各小中学校に配置した地域コーディネー ターが中心となって、学習支援、環境整備、交通安全等のボラ ンティア等を募集し、学校の支援を行いました。 ・事業説明や地域コーディネーター同士の意見交換、活動実践 を共有する場として、地域コーディネーター会議を開催しまし た。

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進の観点からの視点	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
38	3	1	社会教育課	人権教育事業	市民団体の協力を得て、人権に関する講座を実施します。	① ③ ④	b 参加対象者に広く周知できた。 b 学習成果を地域に還元できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。 b 関係部署と連携し、参加者を募った。	◎ ○ ◎ ○		人権週間期間中に「人権講演会」を開催しました。行政回覧、市ホームページ、市政だよりの他、市内高等学校に案内チラシを持参し、演題の内容に沿った対象者の募集を呼び掛けました。 【実績】 令和5年12月10日（日） 演題：半径5メートルから始める こどもの権利 ～子どもの居場所に求められるおとなになるために～ 講師：高尾 晃子（NPO法人Peco まんなか理事長）
39	3	1	社会教育課	放課後子ども教室推進事業	コーディネーターを配置し、地域人材を活用した放課後の子どもたちの居場所づくりに取り組みます。	① ② ③ ⑤	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。 a 学習者同士の交流の場を提供できた。 b 学習成果を地域に還元できた。 b 家庭教育に関する指導・助言ができる人材の育成を行った。 c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎ ◎ ◎ ○ ○ ◎ ◎		・放課後子ども教室を委託開催し、放課後に保護者が安心して子どもを過ごさせることができる居場所を提供します。 ・主任児童委員を各団体にコーディネーターとして配置します。 【実績】 ・四街道こどもネットワーク「出会い・体験・夢ひろば」72日開催 延べ人数300人 ・にこここ文庫さとの子会40日開催 延べ人数656人 ・四街道レクリエーション協会「あそびの城」10日開催 延べ人数275人
40	3	1	社会教育課	公民館管理運営事業	高齢社会に対応した講座を実施します。	② ③ ⑤	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。 a 学習者同士の交流の場を提供できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。 a 家庭教育の重要性を学習する場を提供できた。	◎ ◎ ◎ ◎		多様な講座を開催し、学習者同士の交流を促しました。 【実績】 四街道公民館 長期講座：5講座 短期講座：2講座 千代田公民館 長期講座：5講座 短期講座：2講座 旭 公民館 長期講座：2講座 短期講座：1講座 ※旭公民館は改修工事のため実施数減少

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進の視点	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
41	3	1	社会教育課	青少年体験活動事業	青少年の健全育成を推進するため、市民団体等の協力を得て、体験活動を実施します。	⑤				青少年体験活動実行委員会は令和4年度をもって解散した。同事業の中止から事業を中止しています。今後の見通しも立たないことから事業を中止しています。今後の事業内容を県内市町村や市内団体の事例等を調査研究します。
42	3	2	みんなの課	国際交流事業	国際交流協会と協力し、短期留学事業の継続を図ります。	①				
							b 参加対象者に広く周知できた。	×	事業を中止したため。	
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	×	事業を中止したため。	
							a 学習者同士の交流の場の提供ができた。	×	事業を中止したため。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、姉妹都市短期交換留学事業を中止しました。
						③				
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	×	事業を中止したため。	
43	3	2	みんなの課	コロナ四街道事業	市民団体が提案した地域の魅力を創出する事業を支援します。	②				
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○		
										コロナ四街道において、高齢者や子どもを主な対象とする事業を実施しました。
										【R5実績】
						⑤				採択事業数 3事業（延べ事業数60事業）
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○		
44	3	2	社会福祉課	シニアクラブ支援事業	クラブ活動を支援し、高齢者の生きがいづくりや健康増進を図ります。	②				
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎		
										シニアクラブ連合会及び単位シニアクラブに対し事業費の一部を補助し、地域の高齢者に社会参加・交流をする機会を提供しました。また、活動方針等については、必要に応じて指導を行いました。
45	3	2	社会福祉課	シルバー人材センター支援事業	高齢者の就労機会を提供するため、センターの運営を補助します。	②				
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○		
										シルバー人材センターの運営費・事業費の一部を補助すること で、高齢者の就労機会、社会参加等の確保に寄与しました。
46	3	2	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	ボランティアの機会を提供するため、センターの運営を補助します。	③				
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○		
							b 学習成果を地域に還元できた。	○		
47	3	2	高齢者支援課	高齢者在宅生活支援事業	福祉タクシー利用券によるタクシー利用料の助成事業を通じて、高齢者の社会参加を促進します。	②				
										65歳以上のねたきり高齢者の方等を対象に、乗車1回あたり、料金の半額（上限1,000円）を助成し、高齢者の社会参加を促進しました。
										・交付者数 77人
							d（移動手段にかかる費用の助成）	○		・延利用回数 928回

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進の取組	視点効果	実施状況	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
48	3	2	障がい者支援課	障害者自立支援給付事業	介助者が外出をサポートする同行支援、行動支援、移動支援を提供し、障害のある人の社会参加を促進します。	④				障がい者の外出をサポートするサービスのうち、児童障がい者（児）を対象とする同行支援、重度の知的障がい者（児）を対象とする行動支援を提供し、障がい者の社会参加を促し、学習の機会につなげました。（同行支援延利用人数：385人、行動支援延利用人数：235人）
49	3	2	障がい者支援課	地域生活支援事業	介助者が外出をサポートする同行支援、行動支援、移動支援を提供し、障害のある人の社会参加を促進します。	④		○		障がい者の外出をサポートするサービスのうち、身体・知的・精神障がい者（児）を対象とする移動支援を提供し、障がい者の社会参加を促し、学習の機会につなげました。（移動支援延利用人数：551人）
50	3	2	障がい者支援課	障害福祉推進事業	福祉カーの貸出や福祉タクシー利用券によるタクシーの利用料の助成を通じて、障害のある人の社会参加を促進します。	④				経年劣化による故障により、令和3年6月より貸出事業を停止。修理が不可であるため、新規購入に向け各種助成等への申請を行いました。令和4年度に事業廃止となりました。
51	3	2	障がい者支援課	在宅生活支援事業	福祉カーの貸出や福祉タクシー利用券によるタクシーの利用料の助成を通じて、障害のある人の社会参加を促進します。	④		○		重度の障がい者を対象とした福祉タクシー利用券によるタクシーの利用料の助成事業を実施し、障がい者の社会参加を促し、学習の機会につなげました。（福祉タクシー券延利用人数：6,571人）
52	3	2	障がい者支援課	意思疎通支援事業	手話通訳者（市または千葉県聴覚障害者協会登録の手話通訳者）の派遣等を行い、意思疎通に手話等を必要とする人と、健常者との意思疎通支援を行います。	④				意思疎通に手話等を必要とする人への手話通訳者の派遣等を実施し、障がいのある方の社会参加を促し、学習の機会につなげました。
53	3	2	文化・スポーツ課	市民芸術公演事業	市民団体と共催により、展示会等を実施し、文化活動を活性化します。	① ② ③ ④	b c	○ ○ ○ ○		市民団体と共催による郷土作家展と演劇公演を開催し、多様な芸術文化を経営できる場を提供しました。また、幅広い人材を対象として参加者を募集することにより、学習成果が発表できるよう支援しました。

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進の観点	視点効果	実施計画	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
54	3	2	文化・スポーツ課	芸術文化活動支援事業	市民ギャラリー等を利用し、市民団体主体の芸術文化活動を活性化します。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		市民ギャラリーの貸出及び芸術文化振興助成金交付により、学習成果の発表の場を提供しました。また、インターネットを活用することにより、市民ギャラリーの利用方法や芸術文化振興助成金交付申請書を手軽に入手できるようにし、学習意欲の向上につなげました。
						②	c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○		
						③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○		
						④	c スポーツ・文化活動等、学習を支える環境(人材)を整えた。	○		
55	3	2	文化・スポーツ課	文化財保護管理事業	地域の文化財の保存に取り組みます。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		・ホームページに史料資料等を掲載することで利便性の高い学習機会を提供しました。 ・千葉県教育委員会との共同事業として、千葉県が所有する四街道市出土の資料の展示キットを作製しました。 ・教育委員会のエントランス内にある展示ケースを活用し、作製した展示キットを用いて文化財の企画展を開催し、市民へ学習の機会を提供しました。
						②	c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○		
						③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○		
						①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		
56	3	2	社会教育課	市史編さん事業	歴史資料の収集・整理を行い、目録集や研究誌を発行します。	③	b 学習成果を地域に還元できた。	◎		市民より市史編さんに係る資料の提供をいただき編纂を進めた結果、近現代の資料集を刊行しました。 なお資料内容の確認や解読作業は、時間を割けない市民に代わり市史編さん主任を中心に実施しました。

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための取組	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
57	3	2	社会教育課	市民大学講座事業	市民大学講座修了者による運営委員会を組織し、講座の企画・運営を行います。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		講座修了者の経験則ならではの意見により、講座開催日や時間帯を、比較的多くの市民が参加可能と思われる日程に調整した結果、多数の参加申込となり抽選にて受講者を決定することとなりました。 また、委員それぞれの知見や技能を活かした役割分担による運営形式とし、各人が責任を持って運営に取り組むことができた。 また、委員や講師の意見を柔軟に取り入れ、講座は講義形式だけでなく、班編成の上、ワークショップ形式を取り入れ、受け手がそれぞれの知見や経験則に基づいた意見交換を出しながら、同じテーマに向かっで学習する機会を創出したことなどで、年代や地区の異なる者同士の交流に発展することができました。 講座のカリキュラム選定にあたっては、職員のみならず、運営員と協働で対象講師と折衝するなどの対応を行いました。
							b 参加対象者に広く周知できた。	○		
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○		
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○		
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○		
							d (講師としての検討を行った)	○		
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	×	当初は育児に関する講座を予定し	
							b 参加対象者に広く周知できた。	○		
58	3	2	文化・スポーツ課	総合型地域スポーツクラブ市民団体の協力を得て、スポーツ教室等を実施します。	①	②				総合型地域スポーツクラブを育成し、子どもから高齢者まで、身近な場所で気軽にスポーツに参加できる環境を提供しました。 総合公園の休館日（月曜日）の開放 34回 市立武道館の教室開催数 72日
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○		
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
59	3	3	みんなで課	みんなで地域づくりセンター運営事業	地域づくりの人材育成や市民活動活性化のための講座を実施します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	◎		・地域づくりの主体となる団体の情報交換・意見交換の場を提供しました。 ・地域づくりのための学びの場の提供等、新規市民団体の立ち上げやまちづくりを担う人材の育成を支援しました。
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○		
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
							b 学習成果を地域に還元できた。	○		
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○		

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進の観点から	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
60	3	3	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会と連携し、ボランティアを担う人材を育成します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○		ボランティアセンター運営事業に対し、運営費の一部の補助を行うことで活動の支援を行いました。
						③	b 学習成果を地域に還元できた。	○		
61	3	3	産業振興課	森林ボランティア養成事業	森林の整備や保全活動に担う人材を養成します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○		
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○		
						②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○		森林保全ボランティア養成講座において、市内ボランティア団体の活動紹介も併せて行い、ボランティア団体への参加を促進しました。
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○		
							c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○		
						①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	◎		
							b 参加対象者に広く周知できた。	◎		
						②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	◎		
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	◎		
62	3	3	社会教育課	生涯学習推進事業	・地域人材を登録・活用するアシスト事業を推進します。 ・生涯学習推進員の配置を検討します。	③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎		①生きがいづくりアシスト事業の実施 ・専門的な知識や技能を持った市民にボランティア講師として登録してもらい、市民の活躍の場を提供しました。 ・「一日体験講座」を実施し、登録講師の活用を図りました。 ②生涯学習推進員の配置の必要性について検討しました。
						④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。	○		
						⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	×		育児に関するアシスト講師登録が

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進の取組	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
63	3	3	社会教育課	市民大学講座事業	地域活性化を担う人材を育成します。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		講座開催日や時間帯を、比較的多くの市民が参加可能と思われる日程に調整した結果、多数の参加申込となり抽選にて受講者を決定することとなりました。 講座は講座形式だけではなく、班編成の上、ワークシヨップ形式を取り入れ、受講者同士がそれぞれの知見や経験則に基づいた意見交換を出しながら、同じテーマに向かっ学習する機会を創出したことで、年代や地区の異なる者同士の交流に発展することができました。 また、受講生等の有志により、つながりを持った受講生を募集し、市民大学講座のテーマに沿った活動（ウォーキングを交え）に波及する効果を得る結果となりました。 講座の内容には「共生と連携」「生活基盤を考える」「郷土学習」の3本の柱を設け、地域活性化を担う市民の学習に役立てました。また、市民大学受講生には市政情報提供、参画を促しつつ、当該所管とは別の施設にチラシを設置するなど関係部署との連携も図りました。
							b 参加対象者に広く周知できた。	◎		
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○		
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○		
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	◎		
64	3	3	社会教育課	青少年育成活動支援事業	地域活性化を担う、ジュニアリーダーを育成します。	⑤	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○		子ども会育成連合会に補助金を交付し、地域の子ども会への発展を行うことができました。 ・補助金を活用して市内の小学生及び中学生を対象とした講習会を開催しました。 ジュニアリーダー初級認定講習会 参加者7人 開催数12回
							b 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎		
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	◎		
							a 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○		
							b 学習成果を地域に還元できた。	×		
65	3	4	危機管理室	地域災害対策事業	防災訓練や乳幼児の健診時に「防災ハンドブック」を配布し、防災意識の高揚を図ります。	③	c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	×		子育て家庭に対する災害時の備え等の周知のため、母子手帳の交付と併せて防災ハンドブックを配布しました。 (令和5年度は実施せず)
							a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		
							b 参加対象者に広く周知できた。	○		
							c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○		
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
66	3	4	みんなの交通安全課	男女共同参画推進事業	市民団体が実施する講座・イベント等の開催を支援し、男女共同参画意識の醸成に努めます。	①	b 学習成果を地域に還元できた。	○		男女共同参画に関する講座・イベント等の広報周知を支援しました。 【R5実績】 ・防災減災に男女共同参画の視点を加えた講座を実施 受講者数28人 ・男性の家事育児参加を促進する父子料理教室を実施 参加者数12人 ・性の多様性やジェンダー平等に関する講座を実施 受講者数27人
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
							b 学習成果を地域に還元できた。	○		
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○		
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
67	3	4	くらし安全交通安全課	防犯対策事業	防犯意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。	③	b 学習成果を地域に還元できた。	○		様々な団体が協力してイベントを開催し、防犯意識の高揚を図るための啓発活動を行いました。
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
							b 学習成果を地域に還元できた。	○		
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○		
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
68	3	4	くらし安全交通安全課	交通安全対策事業	交通安全意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。	③	b 学習成果を地域に還元できた。	○		学習会やイベントの開催等を利用して啓発活動を行いました。
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
							b 学習成果を地域に還元できた。	○		
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○		
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		

No	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進課の担当分野	視点効果	実施計画	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
69	3	4	みんなの課	人権擁護事業	人権週間に合わせた啓発活動を行い、人権意識の高揚を図ります。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○		人権週間に合わせた啓発活動として、JR四街道駅改札前に横断幕を設置、市広報紙での記事の掲載を行いました。
70	3	4	環境政策課	環境保全対策事業	地球温暖化防止の意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○ ○ △	環境保全対策の取組として、アポイントの提供を求めているが、参加者が少なかったため。	・各家庭から排出される二酸化炭素の量を数値として見える化し、自己の環境意識を高め、省エネルギーへの取り組みを促進できる環境学習プログラムを、市広報紙に掲載する。市内小学校や自治会等に対しての啓発活動を開始しました。また、産業まつりにて、同委員会による「地球温暖化防止コーナー」での啓発活動やエコドライブを普及するため、「エコドライブコミュニティ」を活用した体験会を実施しました。 【R5実績】 ・産業まつりにて、「地球温暖化防止コーナー」及び「エコドライブコミュニティ」を実施。(R5.11.11-12) ・市民団体との月例会議実施回数・・・12回
71	3	4	廃棄物対策課	ごみ減量化・リサイクル推進事業	ごみの減量・リサイクル意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○ ◎ ○		・産業まつり等において、イベントを開催し、食品ロス削減を啓発しました。 ・市内の小学校に出向し、市内のごみ処理の現状や日常生活で簡単に取入れられることができるごみの減量と分別方法について啓発を行いました。またイベント等に参加し、ごみ減量についての啓発活動を行いました。 ・生ごみの減量に関する講習会を開催しました。 ・生ごみのたい肥化方法の紹介動画を公開しました。 【R5実績】 ・産業まつりにおける食材使いきり料理の販売、啓発活動(小学校総合学習3回、出張フードドライブ5回、出張リサイクル4回、廃棄物対策お仕事体験2回)、ごみを減らす講習会2回
72	3	4	くらし安全交通課	消費者教育推進事業	消費生活に関する意識の高揚を図るため、イベントを活用した啓発活動を行います。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○		市民の消費生活に関する意識の向上、学習機会の確保のため、講座や展示会を開催しました。
73	3	4	社会教育課	人権教育事業	人権週間に合わせた講演会を開催し、人権意識の高揚を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。	○ ○		人権週間期間中に「人権講演会」を開催しました。 行政視察、市ホームページ、市政だよりの他、市内高等学校に案内チラシを持参し、演題の内容に沿った対象者の募集を呼び掛けた。 【実績】 令和5年12月10日(日) 演題：半徑5メートルからはじめる こどもの権利 ～子どもの居場所を求めるおとなになるために～ 講師：高尾 晃子 (NP0法人Pecoまんまある理事長)
						③	b 学習成果を地域に還元できた。 c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○ ○		
						④	b 関係部署と連携し、参加者を募った。	○		

No.	基本 方針	主要 施策	担当課	事業名	内容	生活や習 得者のた めの効果	視点効果	実施 評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
74	4	1	みんなで課	ふるさとまつり 事業	盆踊りや本御輿の参加を通じて、文化的伝統を次の世代に伝え、学習する機会を提供する市民参加型のまつりを開催します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○		ふるさとまつりを開催しました。
75	4	1	産業振興課	産業まつり実 施事業	市内産産物や商工業製品の展示、即売を通じて、市内産業を市民に広く知っていただき、生産者・商工業者と消費者との相互理解を深めるまつりを開催します。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○		産業まつりを開催しました。 【R4実績】 ・開催日 11月11日・12日 ・会場 四街道中央公園 ・出店団体 53団体 ・来場客数 延べ27,000人
76	4	1	文化・スポーツ課	市民文化祭事業	芸術文化活動の発表・展示のほか、体験教室等により、市民の芸術文化活動への意欲を高めるまつりを開催します。	② ③	b 参加対象者に広く周知できた。 b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。 c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○ ○ ○		実行委員会と共催し、幅広い年齢層を対象とした市民文化祭を開催しました。
77	4	1	文化・スポーツ課	ガス灯ロード レース大会事業	市民の体力向上や健康増進を図るほか、パワフルロードレース大会を同時に開催し、障害のある人もない人も楽しめる大会を開催します。	① ② ④	b 参加対象者に広く周知できた。 b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○ ○ ○		四街道ガス灯ロードレース大会の代替イベントとなる「四街道WALLABY RUN」を開催しました。 四街道WALLABY RUN 申込人数 918人

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進の観点	視点効果	実施計画	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
78	4	2	みんなで課	コミュニティ施設維持管理事業	地域活動の拠点となる区・自治会の集会所の整備等に対し補助を行い、コミュニティ活動の推進を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		施設の整備等に対し補助を行うことで、年間を通じ施設の活用を推進しました。
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○		
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○		
79	4	2	社会福祉課	シニア憩いの里運営支援事業	施設維持管理費の一部を補助し、高齢者の集いの場の確保・維持に努めます。	②	c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○		地域住民等が自主的に運営し、高齢者が自由に集い交流できることを目的とする施設に対し、施設維持管理費の一部を補助しました。
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
							b 学習成果を地域に還元できた。	○		
							c 地域に学習成果を活かす動機づけができた。	○		
80	4	2	社会福祉課	総合福祉センター管理運営事業	施設の維持保全を行い、各種団体やサークルに活動の場を提供するための環境整備に努めます。	③				施設を利用して各種団体やサークルに対し、安定的に利用できる活動の場を提供するため施設の維持管理・修繕等を随時行いました。また、利用実績等を集計することにより、多様化する利用ニーズの把握しました。 (児童センター、老人福祉センター、地域福祉センター)
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
81	4	2	社会福祉課	南部総合福祉センター管理運営事業	施設の維持保全を行い、各種団体やサークルに活動の場を提供するための環境整備に努めます。	③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		施設を利用して各種団体やサークルに対し、安定的に利用できる活動の場を提供するため施設の維持管理・修繕等を随時行いました。また、利用実績等を集計することにより、多様化する利用ニーズの把握しました。 (児童センター、老人福祉センター、ふれあいセンター) (同種施設のため再掲)
82	4	2	子育て支援課	児童センター運営委託事業	子育て支援を推進する拠点施設として、児童センターの環境整備に努めます。	⑤	c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○		四街道市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、児童センター2か所の運営を行い、各種事業を実施することにより、子どもたちの居場所や親子の遊び場と交流の場を提供しました。
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
83	4	2	保育課	こどもルーム運営事業	小学生が放課後に学習や遊びを行い、生活の場となるようこどもルームの環境整備に努めます。	③				各こどもルームで「自習」の時間を設け、宿題を行える環境を整備することで、保育の必要性が有る家庭内においても教育がスムーズに行えるよう支援しました。
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○		

No	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進のための視点	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み		
84	4	2	都市計画課	都市公園・緑地維持管理事業	スポーツ施設の改修等を行い、スポーツ活動の環境整備に努めます。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		・庭球場などの有料公園施設を生涯学習活動の場として提供しました。 ・スポーツ施設の適切な維持管理により、施設の安全性を確保し、子どもから高齢者まで幅広い層の市民の健康づくりの場、生涯学習活動の場を提供しました。		
							b 参加対象者に広く周知できた。	○				
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○				
							b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○				
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○				
85	4	2	教育総務課	教育委員会事務局運営事業	教育関係の情報コーナーを設置し、生涯学習の推進を図ります。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。	○		第二庁舎の1階スペースに「学習情報コーナー」を常設し、生涯学習に関するポスターの掲示やパンフレット等の配架を行いました。第二庁舎の開庁日（時間中）は、いつでも、だれでも情報収集に立ち寄ることができるようになっています。 【R5実績】 開庁日数（平日）…243日		
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○				
							c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○				
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○				
86	4	2	社会教育課	公民館管理運営事業	社会教育を推進する拠点施設として公民館の環境整備に努めます。	③				必要に応じて修繕・工事などを実施し、多様な世代が使用する公民館の環境整備を行いました。 【実績】 千代田公民館受水槽更新工事		
							c 保護者等が安心して育児が行える支援ができた。	○				
							a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○				
							c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○				
87	4	2	文化・スポーツ課	歴史民俗資料館施設整備事業	歴史民俗資料を整理・活用し、まちの歴史を知る機会を提供します。	②	a 参加者の知識や技能等を活かす場が提供できた。	○		・文化財活用員や四街道市の市の様子をよく知る高齢者を講師に迎え、歴史民俗資料室の見学対応ほか、民具の出前授業等を開催しました。 ・歴史民俗資料室の見学や民具の出前授業を通して、疑問に思ったことを学習者（児童）同士で主体的に話し合う場を提供しました。 ・出前授業を実施することによって、実物資料を「触る」「見る」「使う」といった一連の行為を体験させ、モノから学ぶ視点を提供しました。 ・歴史民俗資料室は八木原小学校の大規模改修に伴い令和3年10月1日から休館していましたが、令和5年7月から再開しています。		
							c 学んだ成果を発表できる場を提供できた。	○				
							a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○				
							d（モノから学ぶ視点を提供することができた）	○				

No.	基本方針	主要施策	担当課	事業名	内容	生涯学習推進の観点	視点効果	実施評価	評価の理由 (△×の場合のみ)	主な取り組み
88	4	2	文化・スポーツ課	体育施設管理運営事業	スポーツ施設の改修等を行い、スポーツ活動の環境整備に努めます。	①	b 参加対象者に広く周知できた。	○		子どもから大人まで、全ての市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう施設の適正な維持補修と管理に努めました。 ・総合公園体育館 化粧金補修工事等 ・総合公園野球場 野球場空調設備工事 ・温水プール 屋根工事等
						②	b 趣味・教養・健康づくり・仲間づくりの場を提供できた。	○		
						③	a 学習者同士の交流の場を提供できた。	○		
89	4	2	図書館	図書館管理運営事業	市民が快適に学習・読書ができる生涯学習施設として計画的な改修等に努めます。	①	a 学習時間が取れない人に対しての配慮を行った。 b 参加対象者に広く周知できた。 c 学習内容について、参加者からの意見を聞くことができた。	○ ○ ○		多様な働き方をとする市民が来館しやすい施設の運営に努めました。 【R5 実績】 ・年間開館日数 330日 ・施設・設備等修繕件数 10件
						③	d (生涯学習施設の維持管理)	○		
						④				
							d (安全に配慮した施設整備)	○		
90	4	2	図書館	資料管理整備事業	市民のニーズを大切に資料収集や多様な学習に役立つ図書等を提供し、市民の生涯学習の充実を図ります。	③	d (市民の生涯学習推進に努めた)	○		インターネットによる蔵書検索、予約により、来館を要せず必要とする資料の所蔵状況を自由に調べ、確保する環境を整えます。また、紙媒体の資料のほか電子書籍の整備により、いつでも、どこにいても読書が楽しめる環境整備を図ります。 【R5 実績】 ・電子書籍の購入数 146タイトル

生涯学習推進計画の評価方法について

～はじめに～

従前、生涯学習審議会からは本計画の評価方法について、事務事業評価の様にならないようにしてほしい旨をご指摘頂いており、第4次四街道市生涯学習推進計画では、新たに取り組みとしてはじめる千葉県生涯学習情報提供システム（ちばりすネット）への掲載状況と、各課が実施する生涯学習に関するアンケートの実施状況を新たに評価指標として取り入れていきたいと考えています。

○生涯学習推進計画の評価方法について

評価内容	評価方法	概要
内部評価	・ 担当課の評価 ・ 生涯学習推進本部会	・ 各課の事業評価(ちばりすネット掲載状況等) ・ 本部会への生涯学習関連事業の報告
外部評価	・ アンケート評価	・ 各課の事業毎のアンケート評価結果
第3者評価	・ 生涯学習審議会	・ 審議会からの評価

○第3章 「計画の具体的な取組」（別紙「第3章評価シート(案)」）について

①事業の概要

計画に掲載されている「具体的な取組の概要」を転記

②具体的な取組実績

計画に掲載されている「実施する講座・教室など」に対する実績を入力

例：講座数、参加人数、団体数など

※計画に未掲載の場合は、当該年度で行った具体的な取組内容の実績

③各事項の取組状況について

事業アンケートの実施・ちばりすネットへの登録に関する事項の評価

・ 事業アンケートを実施しているかについて

有の場合：－

無の場合：なぜ、アンケートを実施することができなかったか理由を記載

・ ちばりすネットに登録しているかについて

有の場合：－

無の場合：なぜ、ちばりすネットに登録することができなかったのか理由を記載

④達成度

生涯学習を推進するための達成度を評価項目として設定し、項目毎に○・×で評価

- ①学習した成果を活かした課題解決を行う
- ②学習した成果を社会や他者のために生かす充実感を得る
- ③社会への参加・貢献につながっている

※評価方法については、細分化すると例年と同様の事業内容を行っていても、年度の担当者によって◎から○になることが多くあった為、細分化せずに誰が評価しても変わらないものとする。

⑤今後の方向性

- ・方向性について記載
継続・縮小・廃止
- ・課題と取り組みについて記載
④の達成度を踏まえて課題を整理し、次年度以降の取り組みを記載

○附録 「生涯学習関連事業一覧表」(別紙「一覧表評価シート(案)」)について

「第3章 計画の具体的な取組」に掲載している生涯学習推進事業とは別に、推進項目毎に一覧表として掲載している事業については、「事業アンケートの実施状況・ちばりすネットへの掲載状況」についてのみ調査します。

- ・事業アンケートを実施しているかについて
有の場合：—
無の場合：なぜ、アンケートを実施することができなかったか理由を記載
- ・ちばりすネットに登録しているかについて
有の場合：—
無の場合：なぜ、ちばりすネットに登録することができなかったのか理由を記載

※推進項目「4-3 施設の整備」については、施設的环境整備についての項目のため、対象外とする

※5年後、達成度を中心に詳しく事業を振り返り次期計画等に生かしていきます。

1	学びの基礎づくり	1-1 子育て	3	学びでつながる地域づくり
		1-2 健康	3-1	地域社会との連携
			3-2	市民参画・協働
			3-3	人材育成・活用
			3-4	コミュニティ活動
2	学びのきっかけづくり	2-1 学習情報の提供	4-1	学びを支えるまちづくり
		2-2 啓発活動	4-1	団体支援
		2-3 サポート体制	4-2	教育資源の活用
			4-3	施設の整備

→ →

※上記の内容については、実際の実績とは異なります。

〇一覧表評価シート(案)

推進項目	事業名	担当部署	有・無	アンケートの実施状況 理由	有・無	ちばりすネットの掲載状況 理由
1-1 子育て	中央保育所保育運営事業	保育課				
	母子保健事業	健康増進課				
	農作物生産等支援育成事業	産業振興課				
	成人保健事業	健康増進課				
1-2 健康	公民館管理運営事業	社会教育課				
2-1 学習情報の提 供	みんなで地域づくりセンター運営事業	みんなで課				
	社会福祉協議会支援事業	社会福祉課				
	公民館管理運営事業	社会教育課				
	防犯対策事業	くらし安全交通課				
2-2 啓発活動	交通安全対策事業	くらし安全交通課				
	人権擁護事業	みんなで課				
	環境保全対策事業	環境政策課				
	ごみ減量化・リサイクル推進事業	廃棄物対策課				
	消費者教室推進事業	くらし安全交通課				
	図書館魅力創造プロジェクト事業	社会教育課(図書館)				
	子育て相談支援事業	保育課				

四街道市生涯学習審議会条例

(設置)

第1条 市は、市民の生涯学習の振興を図るため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、四街道市生涯学習審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項について調査し、及び審議する。

2 審議会は、前項に規定する事項に関し市長に意見を述べることができる。

(組織)

第3条 審議会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 生涯学習関係団体の代表者
- (3) 社会福祉関係団体の代表者
- (4) 学識経験のある者
- (5) 公募による市民

3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な書類の提出を求めることができる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、教育部社会教育課において処理する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成30年4月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 この条例の規定に基づく委員の委嘱のための手続その他の準備行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

令和5年度事務事業評価シート（令和4年度実施事業）

教育部

資料 No. 参考 2

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和4年度			令和5年度	
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針
61	人権教育事業	社会教育課	学習機会を提供することによって、市民の人権尊重の意識が向上している。	人権週間に合わせて、社会情勢の中からは各種人権について学ぶ機会を提供している。	人権週間に合わせて講演会を実施し、人権意識を高めることができた。人権啓発担当部署や市民団体と連携して会議を開催するなど人権意識を高めることができた。	妥当性 有効性 効率性	市民団体と連携して会議を開催していましたが、市民団体が解散したため、市民団体の企画ができる事業について検討しました。 人権週間に合わせて講演会を開催することにより、全国各地で行われる様々な活動と合わせて、効果的な意識啓発が行われており、同時期に開催できる代替事業を検討しました。 代替事業で、市民と連携して人権関連事業を実施できるかを検討しました。	一部改善	市民団体と連携して会議を開催していましたが、市民団体の企画ができる事業について検討しました。
62	社会教育活性化事業	社会教育課	社会教育委員の専門知識が反映された事業が展開されている。社会教育指導員の家庭教育、青少年教育等の新教育に対する指導助言により、社会教育事業を活性化している。	社会教育指導員の家庭教育、青少年教育等の新教育に対する指導助言により、社会教育事業を活性化している。	社会教育委員会議を開催し、市の社会教育について意見をいいたただいて、情報収集等を行うことで市社会教育事業の活性化につなげます。 定期的な会議を開催し、市の社会教育について意見をいいたただいて、情報収集等を行うことで市社会教育事業の活性化につなげます。 家庭教育の普及や団体への指導助言等、社会教育事業の普及に貢献をいただきます。また、社会教育委員会議にて、助成金や補助金について審議し、効果的な交付が行われています。	妥当性 有効性 効率性	社会教育法に定められていることから、社会教育委員を設置することが妥当です。 定期的な会議を開催し、市の社会教育について意見をいいたただいて、情報収集等を行うことで市社会教育事業の活性化につなげます。 家庭教育の普及や団体への指導助言等、社会教育事業の普及に貢献をいただきます。また、社会教育委員会議にて、助成金や補助金について審議し、効果的な交付が行われています。	現行どおり	社会教育委員会議を通じて、社会教育事業に助成をいただき、市の社会教育を活性化します。また、社会教育指導員の指導助言により、学校・家庭・地域の連携を強化します。
63	子育て学習事業	社会教育課	保護者等を主体とし、小中学校などと連携をとりながら子育てに必要な教育を効果的に学習する機会を設けることにより、家庭教育が向上している。	就学時健康診断や入学説明会の際に、家庭教育の重要性を認識するための講座等を開催する。また、家庭や地域における子育て意識を啓発し、家庭教育を支援することにより、家庭教育が向上している。	学校や保護者のニーズに合ったテーマで講座や資料の配付を行うことにより、小中学校及び中学校の入学を控えた児童生徒の保護者に、家庭教育の重要性を伝えることができた。	妥当性 有効性 効率性	家庭教育の重要性を認識するための講座等を開催する。また、家庭や地域における子育て意識を啓発し、家庭教育を支援することにより、家庭教育が向上している。 小中学校の就学時健康診断、中学校の入学説明会は保護者が一堂に会する数少ない機会であり、その際に子育て学習講座を実施し家庭教育を支援することは最も適している。	現行どおり	家庭・学校・地域の連携により家庭教育力を向上させるため、小中学校児童生徒の保護者や地域住民を対象とした学習機会を提供していきます。

